

2011年度 第10回 韓国・日本 政治思想学会
国際学術会議「東アジアの歴史と思想」

共同主催：韓国政治思想学会
日本政治思想学会
成蹊大学アジア太平洋研究センター

日時：2011年9月24日（土）・25日（日）
場所：成蹊大学4号館101教室（4号館ホール）

- ・同時通訳付き（日本語・韓国語・中国語）
- ・予約不要、参加費無料（各日とも先着200名まで）

第1日目（2011年9月24日（土））

＜開会の辞（9:50～10:00）＞

挨拶：成蹊大学アジア太平洋研究センター所長・中神 康博

＜第1セッション（10:00～12:30）＞

「東アジアの近代とナショナリズム」

司会：金 容敏（韓国外国語大学）

報告者：

1. 魯 炳浩（韓国外国語大学）
「南原繁のナショナリズム—西欧留学と<日本>」
2. 米原 謙（大阪大学）
「日本ナショナリズムと東アジア」
3. 加藤 節（成蹊大学）
「政治思想の日本の文脈—批判主義の系譜」

コメンテーター

1. 韓国側—金 聖昊（延世大学）
2. 日本側—苅部 直（東京大学）

＜第2セッション（14:00～17:00）＞

「東アジアにおける中国」

司会：金 光旭（成蹊大学）

報告者：

1. 李 三星（韓国・翰林大学）
「現代中国の全体主義の経験と東アジアのアイデンティティー1960—1980年代の中国における政治現実の認識と東アジア政治伝統の問題」
2. 潘 維（北京大学国際関係学院）
「当代中華体制の解析」
3. 石 之瑜（台湾大学）

「グローバル・セルフ・ガバナンス—中国思想史の文脈における責任ある大国の実践」

4. 李 晓東（島根県立大学）

「憲法と国会—近代日本と中国の立憲主義に対する受容」

コメンテーター：

1. 韓国側—柳 弘林（ソウル大学）

2. 日本側—光田 剛（成蹊大学）

＜レセプション（17:30～19:30）於：成蹊大学10号館12階（参加費無料）＞

第2日目（2011年9月25日（日））

＜第1セッション（10:00～12:30）＞

「東アジアの伝統思想」

司会：全 敬玉（韓国・淑明女子大学）

報告者：

1. 李 鐘殷（韓国・国民大学）

「中国と西洋における自然法則と自然法」

2. 羅 祯源（韓国・江原大学）

「東アジアにおける外来仏教の政治的変容と在来の土着信念」

3. 石川 公彌子（日本学術振興会特別研究員（RPD））

「近代国学—折口信夫を中心として」

コメンテーター：

1. 韓国側—高 熙卓（延世大学）

2. 日本側—平石 直昭（帝京大学）

＜第2セッション（14:00～17:00）＞

「政治思想における西欧と東アジア」

司会：李 静和（成蹊大学）

報告者：

1. 梁 承兌（韓国・梨花女子大学）

「俞吉濬の西洋政治学導入と朱子学の政治学の終焉」

2. 韓 東育（中国・東北師範大学）

「荀子・韓非子の政治学と徂徠学」

3. 黄 俊傑（台湾大学）

「儒家政治思想の中における道徳的主体性の客觀化」

4. 宮村 治雄（成蹊大学）

「『東洋のルソー』の政治思想—中江兆民再考」

コメンテーター：

1. 韓国側—張 鉉根（韓国・龍仁大学）

2. 日本側—平石 直昭（帝京大学）

＜閉会の辞（17:10～17:30）＞

挨拶：韓国政治思想学会会長・金 容敏（韓国外国语大学）

日本政治思想学会代表理事・川崎 修（立教大学）